



うちだ たかほ 議員
内田 隆穂

質問

行政改編の狙いと効果は

町長

産業振興と持続可能な町へ



奥出雲町役場仁多庁舎

質問

今年度、役場の機構が一部改編された。人口減少が顕著になる中、世界農業遺産を生かした各課横断的な施策の実行が不可欠となっている。令和8年度の機構改革の狙いと期待される効果について問う。

町長

人口減少や産業構

造の変化に長期・戦略的に対応するため、政策企画課を奥出雲創生課に、定住産業課を商工観光課にそれぞれ再編した。各課の役割を明確化しつつ横断的に取り組む体制を整え、世界農業遺産を活用した農業・産業・観光の総合振興と持続可能な奥出雲町の実現を目指す。

世界農業遺産の活用について

質問

認定後、複数の施策が実施された。その効果をどのように把握しているか。町内の農業者・飲食店・宿泊施設の売上への波及について問う。

町長

観光協会による体

験ツアーの企画・販売、ロゴマークの農産品への活用などを進めている。正確な売上把握は困難だが、役場への講演依頼や視察が増加するなど、世界農業遺産への関心と認知度は高まっている。

質問

ぐるなびからの派遣事業に要した費用の総額と、行政としての成果の評価は。製造を県外で

行い、現在町内に販売店がない点についても見解を問う。

町長

3年間の総額は271万3000円で、特別交付税を活用した。町内製造事業者が見つからず県外製造となったが、阪急うめだ本店の催事でクッキー缶が2年連続完売するなど、都市部での奥出雲ブランドPRに寄与したと評価している。町内での取り扱い拡大に向け、引き続き働きかけを行う。

その他の質問

奥出雲町の観光資源